

「一関遊水地見学会」を開催しました

○開催日時：平成28年8月20日（土）

○実施内容：遊水地展望台見学、大林水門（大林排水施設躯体工事）見学
遠隔バックホウ稼働実演、大型遠隔操縦式草刈機除草実演
排水ポンプ車稼働実演、「あいぼーと」施設見学

○参加者等：一関・平泉地域の住民の皆様 23名

昭和22、23年に来襲したカスリン・アイオン台風の水害を契機に計画された一関遊水地及びその周辺の治水対策事業が昭和47年度から進むにつれて、被害は徐々に軽減されてきました。

そこで、岩手河川国道事務所・一関市では、一関・平泉地域の住民の皆様を対象に、今の一関遊水地事業がどこまで進んだか、また治水の意義と治水対策事業への理解を深めていただく事を目的として、『一関遊水地見学会』を開催（今年で7回目）しました。

当日は、躯体工事が終了した「大林水門」の現場見学や、遠隔バックホウや大型遠隔操縦式草刈機の操作体験、「あいぼーと」施設にある集中管理センターの見学等をとおして一関遊水地事業について学習しました。

参加者からは、「大林水門の躯体工事が終了したのを見れて良かった」「遊水地について、多少でも理解出来て、家族にお話できることは嬉しいです」「公共事業の根本的な考え方を教えられた様な気がした。」などの感想をいただきました。

『一関遊水地見学会は』来年度も開催予定です。



「あいぼーと」で出発式



遊水地事業の概要説明



遊水地展望台から全景を眺める





遠隔バックホウの稼働体験



大型遠隔操縦式草刈機の稼働体験



排水ポンプの稼働実演

あいぼーと齋藤事務局長による集中管理センターの説明



大林水門の躯体をバックに記念撮影

一関市建設部治水河川課 菅原課長補佐の
終了式での挨拶